

令和5年10月31日

資料5

令和5年度 第2回飯山市地域公共交通会議

(5) 飯山市地域公共交通計画の進捗状況の評価について

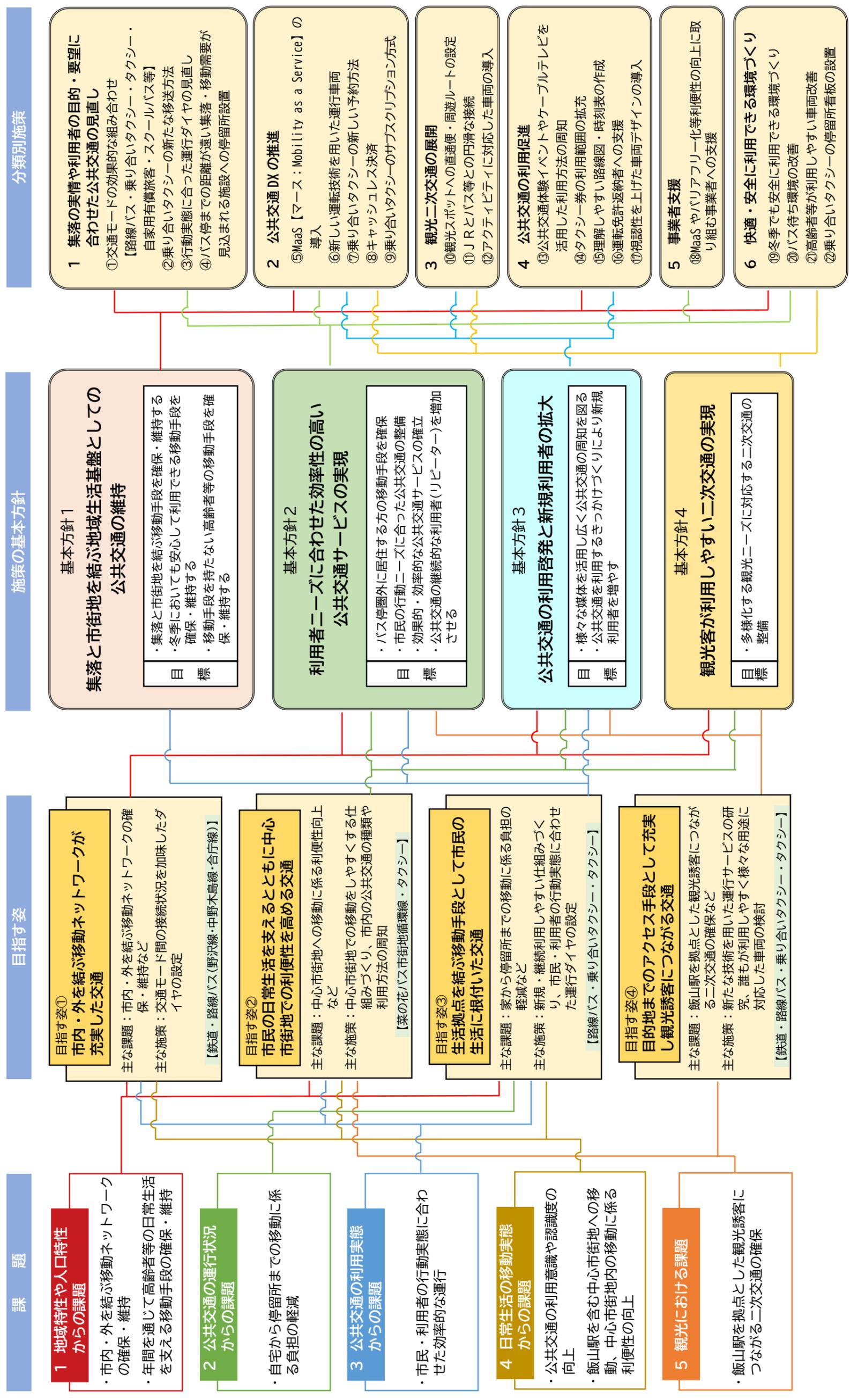
飯山市地域公共交通計画の進捗状況の評価を行うため、令和5年8月3日に幹事会を開催した。その際、幹事の皆様から頂戴した意見を参考に評価結果をまとめたため、委員の皆様にもご確認をお願いしたい。

- ・資料5－1：公共交通計画の体系図
- ・資料5－2：公共交通計画の進捗状況の評価、目標値・現況値
- ・資料5－3：施策の実施スケジュール

(添付資料)

- ・資料5－4：令和4年度 路線別カルテ

体系図【課題～目指す姿～基本方針・目標～施策】



分類別施策1 集落の実情や利用者の目的・要望に合わせた公共交通の見直し

関連する基本方針

- 1 集落と市街地を結ぶ地域生活基盤としての公共交通の維持
- 2 利用者ニーズに合わせた効率性の高い公共交通サービスの実現

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
①	交通モードの効果的な組み合わせ	実施	B	運行事業者・市	飯山線において自転車を折りたたまずにそのまま持ち込めるサイクルトレインの試験運行の実施について、長野県 JR 連絡調整会議にて要望
②	乗り合いタクシーの新たな移送方法	検討	B	運行事業者・市	・佐久市デマンド交通「さくっと」の視察 ・茅野市 A I 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の視察
③	行動実態に合った運行ダイヤの見直し	実施	B	運行事業者・市	路線バス温井線の時刻を変更し、市内本町バス停における路線バス中野木島線からの乗り継ぎを改善
④	バス停までの距離が遠い集落・移動需要が見込まれる施設への停留所設置	実施	A	運行事業者・市	・菜の花バス市街地循環線に「いいやまファミリークリニック」停留所を新設 ・乗り合いタクシー富倉大川線に停留所を2箇所新設（倉本地区、大川地区）

※赤字は重点事業

評価基準

- A…施策をスケジュールどおりに実施・検討できている
 B…施策を概ねスケジュールどおりに実施・検討できている
 C…施策をスケジュールどおりに実施・検討できていない

計画の進捗に対する評価

すべての施策が進められており、今後も計画的な施策の実施が望まれます。特に「交通モードの効果的な組み合わせ」については、要望活動の成果もあり、令和5年度9月からJR飯山線では初めての取り組みとなるサイクルトレインを活用したテストツアーが実施されています。

また、「乗り合いタクシーの新たな移送方法」の検討については、先進地の視察をとおして Door to Door 方式（発着地の制限がない運行形態）、Door to Fix 方式（着地固定型の運行形態）の導入事例について学びました。予定では令和6年度に実証実験となるため、事前に地域の方々の意見を丁寧にヒアリングし、説明会等を通して、どのような仕組みであれば利用してもらえるのか、丁寧に詰めていく必要があります。

分類別施策 2 公共交通 DX の推進

関連する基本方針

- 1 集落と市街地を結ぶ地域生活基盤としての公共交通の維持
- 2 利用者ニーズに合わせた効率性の高い公共交通サービスの実現
- 3 公共交通の利用啓発と新規利用者の拡大
- 4 観光客が利用しやすい二次交通の実現

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
⑤	MaaS【マース：Mobility as a Service】の導入	検討	B	運行事業者・市	・長野県が実施する GTFS-JP（標準的なバス情報フォーマット）データ整備支援事業に参加 ・JR 東日本が実施する観光型 MaaS「旅する北信濃」への参画
⑥	新しい運転技術を用いた運行車両	研究	C	運行事業者・市	MaaS 導入の検討後に研究予定
⑦	乗り合いタクシーの新しい予約方法	検討	B	運行事業者・市	茅野市 A I 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の視察（再掲）
⑧	キャッシュレス決済	検討	B	運行事業者・市	長野県と連携し、地域連携 IC カードの導入について研究
⑨	乗り合いタクシーのサブスクリプション方式	研究	C	市	事業者と実施可能かどうか研究する予定

計画の進捗に対する評価

長野県が主催する説明会や他自治体の事例を参考に、公共交通の DX について検討・研究が進められています。

特に「MaaS【マース：Mobility as a Service】の導入」については、複数の移動サービスの最適な組み合わせを実現するための初期段階として、全国的にバス路線のオープンデータ化（Google マップへの掲載等）が進められており、飯山市もそこに加わる形でデータ整備に取り組んでいます。

また「キャッシュレス決済」につきましては、長野県主導で地域連携 IC カードの導入について研究が進められているため、積極的に説明会や協議会に参加し、飯山市内での導入について、観光客の利用が多い路線（斑尾線など）から検討していきます。

なお、「新しい運転技術を用いた運行車両」や「乗り合いタクシーのサブスクリプション方式」の研究については、今後は費用対効果も踏まえて、飯山市の公共交通に必要なかどうか、研究していく必要があります。

分類別施策3 観光二次交通の展開

関連する基本方針

- 3 公共交通の利用啓発と新規利用者の拡大
- 4 観光客が利用しやすい二次交通の実現

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
⑩	観光スポットへの直通便・周遊ルートの設定	検討	A	関係機関等・ 運行事業者・ 市	乗り合いタクシー岡山下段線、上野線、温井線に「道の駅「花の駅 千曲川」」停留所を新設
⑪	JR とバス等の円滑な接続	実施	B	運行事業者・ 市	生活・観光両面において北陸新幹線や飯山線とバス等の接続状況を加味したダイヤ設定を検討
⑫	アクティビティに対応した車両の導入	検討	A	運行事業者・ 市	信越自然郷サイクルツアーサポートバスの導入（信越9市町村広域連携会議：事務局 飯山市広域観光推進課）

計画の進捗に対する評価

すべての施策に着手しています。特に「観光スポットへの直通便・周遊ルートの設定」では、令和4年度にリニューアルオープンした道の駅「花の駅千曲川」を乗り合いタクシーの停留所に追加した結果、飯山駅からの観光客の利用が見られました。ただ実績は少ないので、今後周知を図る必要があります。

また、飯山市の課題であるグリーンシーズンの観光振興を図るためには、信越トレイルや小菅・北竜湖エリア等へのアクセスの利便性を高めることが重要になるため、交通事業者や観光事業者と相談しながら、理想的な二次交通の形を検討することが必要だと考えます。

分類別施策4 公共交通の利用促進

関連する基本方針

- 1 集落と市街地を結ぶ地域生活基盤としての公共交通の維持
- 3 公共交通の利用啓発と新規利用者の拡大

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
⑬	公共交通体験イベントやケーブルテレビを活用した利用方法の周知	実施	C	関係機関等・市	実施方法を検討
⑭	タクシー券の利用範囲の拡充	検討	B	市	市役所内関係部署（保健福祉課、企画財政課、道路河川課、商工観光課）で検討
⑮	理解しやすい路線図・時刻表の作成	実施	B	市	路線図・時刻表の作成事業者と打合せを実施
⑯	運転免許返納者への支援	検討	B	関係機関等・市	運転免許返納者が乗り合いタクシーなどを利用するきっかけになるよう、他自治体の事例を参考に検討
⑰	視認性を上げた車両デザインの導入	実施	B	運行事業者・市	令和5年度実施予定

計画の進捗に対する評価

全体的に未実施の施策が多いので、令和5年度から本格的に取り組んでいく必要があります。特に「理解しやすい路線図・時刻表の作成」については、集落・路線ごとの住民を対象に、買い物や通院のモデルコースを掲載したご当地時刻表や、利用者個人のニーズに寄り添った専用時刻表の作成を、委員の皆様にご意見を頂戴しながら進めていきます。

また「視認性を上げた車両デザインの導入」については、令和5年度に菜の花バス市街地循環線の車両のラッピングを更新する予定のため、この機会を活かし視認性の向上を図る必要があると考えられます。

分類別施策5 事業者支援

関連する基本方針

2 利用者ニーズに合わせた効率性の高い公共交通サービスの実現

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
⑱	MaaS やバリアフリー化等利便性の向上に取り組む事業者への支援	検討	C	運行事業者・市	事業者の意見・要望を伺う。

計画の進捗に対する評価

こちらの施策については未実施であるため、今後はバス事業者やタクシー事業者の意見を伺い、国や県で実施している事業者支援の内容を踏まえて、検討を進めるべきであると考えます。

分類別施策6 快適・安全に利用できる環境づくり

関連する基本方針

- 1 集落と市街地を結ぶ地域生活基盤としての公共交通の維持
- 2 利用者ニーズに合わせた効率性の高い公共交通サービスの実現
- 4 観光客が利用しやすい二次交通の実現

施策番号	施策	実施区分	評価	実施主体	実施内容
⑲	冬季でも安全に利用できる環境づくり	実施	B	市民・市	除雪計画に基づく道路除雪の実施
⑳	バス待ち環境の改善	実施	A	関係機関等・市	令和4年度に新設された「いいやまファミリークリニック」「道の駅「花の駅 千曲川」」2箇所の停留所において、施設の軒下を待機スペースに設定
㉑	高齢者等が利用しやすい車両改善	実施	B	運行事業者・市	菜の花バス市街地循環線の車両について、手すりの位置の改善を令和5年度に実施予定。
㉒	乗り合いタクシーの停留所看板の設置	実施	B	市	「道の駅「花の駅 千曲川」」停留所に看板を設置

計画の進捗に対する評価

ほとんどの施策に着手しています。特に「バス待ち環境の改善」については、新設された停留所において、雨天時でも待機しやすいよう配慮されています。

なお「乗り合いタクシーの停留所看板の設置」については、新規の利用者が困らないように、利用者数の多い停留所から整備を進めていく必要があると考えられます。

公共交通計画に係る目標値・現況値

目標値の項目、現況値、目標値及びそれぞれの値に係る根拠等については次のとおりです。

項目	基本方針	現況値		現況値の根拠	目標値の根拠	データ取得方法
		目標値(最下段)				
コミュニティバスの年間の延べ利用者数	1 2 3 4	R2年度	14,819人	コミュニティバスの延べ利用者数	コミュニティバス全体の利用者数を新型コロナウイルスの影響を受ける直前の平成30年度と同程度にする	運行事業者から報告のあった利用者数
		R3年度	15,796人			
		R4年度	19,094人			
		R5年度				
		R6年度				
		R7年度				
		R8年度	23,900人			
乗り合いタクシーの年間の延べ利用者数	1 2 3 4	R2年度	6,303人	乗り合いタクシーの延べ利用者数	乗り合いタクシー全体の利用者数を新型コロナウイルスの影響を受ける直前の平成30年度と同程度（ただし沿線人口の減少等を考慮）にする	運行事業者から報告のあった利用者数
		R3年度	5,720人			
		R4年度	4,791人			
		R5年度				
		R6年度				
		R7年度				
		R8年度	7,000人			
公共交通に課題があって利用しない人の割合	1 2 3	R3年度	37.8%	市民アンケートの質問10の回答総数（回答者数ではない）のうち「自動車を運転できるから」「家族等に送迎してもらえるから」以外の回答数の割合	各種施策の実施により、割合を半減させる	市民アンケートの実施
		R6年度				
		R8年度	18.9%			
乗り合いタクシーの新たな移送方法の試験実施数	1 2 3	R2年度	0	未実施	市内1エリアでの試験運行を想定	試験運行の実施回数
		R6年度				
		R8年度	1エリア			
コミュニティバス利用者1人当たりの運行に係る運行経費	2	R2年度	1,294円	コミュニティバス利用者1人当たりの運行経費	令和8年度の運行経費を令和2年度と同程度とした上で、コミュニティバスの年間の利用者数の増加により、1人当たりの運行経費を減少させる	運行経費(※) / 利用者数
		R3年度	1,204円			
		R4年度	881円			
		R5年度				
		R6年度				
		R7年度				
		R8年度	600円			

乗り合いタクシー利用者1人当たりの運行に係る運行経費	2	R2年度	4,850円	乗り合いタクシー利用者1人当たりの運行経費	令和8年度の運行経費を令和2年度と同程度とした上で、乗り合いタクシーの年間の利用者数の増加により、1人当たりの運行経費をを減少させる	運行経費(※)／利用者数
		R3年度	5,728円			
		R4年度	6,946円			
		R5年度				
		R6年度				
		R7年度				
		R8年度	4,400円			
飯山市の観光入込客数	4	R2年度	496,700人	飯山市の観光入込客数	第2期飯山市総合戦略における観光入込客数の目標値	商工観光課の集計数値
		R3年度	649,500人			
		R4年度				
		R5年度				
		R6年度				
		R7年度				
		R8年度	1,200,000人			

※運行経費（公費負担額）＝運行事業者に支払う委託料又は補助金、修繕料の合計から運賃収入を除いた額（収支差）

実施スケジュール

計画期間中の各施策における実施スケジュールは以下のとおりです。この中の重点事業については、より優先的に取り組みます。なお、実施区分を検討・研究としている施策については、中間報告・評価を行い、以降の取り組みの方向性を示していきます。

分類	施策番号	施策	実施区分	実施主体	R4	R5	R6	R7	R8
1	①	交通モードの効果的な組み合わせ	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
1	③	行動実態に合った運行ダイヤの見直し	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
1	④	バス停までの距離が遠い集落・移動需要が見込まれる施設への停留所設置	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
3	⑪	JR とバス等の円滑な接続	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
4	⑬	公共交通体験イベントやケーブルテレビを活用した利用方法の周知	実施	関係機関等・市	◆	◆	◆	◆	◆
4	⑮	理解しやすい路線図・時刻表の作成	実施	市	◆	◆	◆	◆	◆
4	⑰	視認性を上げた車両デザインの導入	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
6	⑲	冬季でも安全に利用できる環境づくり	実施	市民・市	◆	◆	◆	◆	◆
6	⑳	バス待ち環境の改善	実施	関係機関等・市	◆	◆	◆	◆	◆
6	㉑	高齢者等が利用しやすい車両改善	実施	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
6	㉒	乗り合いタクシーの停留所看板の設置	実施	市	◆	◆	◆	◆	◆
1	②	乗り合いタクシーの新たな移送方法	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
2	⑤	MaaS【マース：Mobility as a Service】の導入	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
2	⑦	乗り合いタクシーの新しい予約方法	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
2	⑧	キャッシュレス決済	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
3	⑩	観光スポットへの直通便・周遊ルートの設定	検討	関係機関等・運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
3	⑫	アクティビティに対応した車両の導入	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
4	⑭	タクシー券の利用範囲の拡充	検討	市	◆	◆	◆	◆	◆
4	⑯	運転免許返納者への支援	検討	関係機関等・市	◆	◆	◆	◆	◆
5	⑱	MaaS やバリアフリー化等利便性の向上に取り組む事業者への支援	検討	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
2	⑥	新しい運転技術を用いた運行車両	研究	運行事業者・市	◆	◆	◆	◆	◆
2	⑨	乗り合いタクシーのサブスクリプション方式	研究	市	◆	◆	◆	◆	◆

※赤文字は重点事業

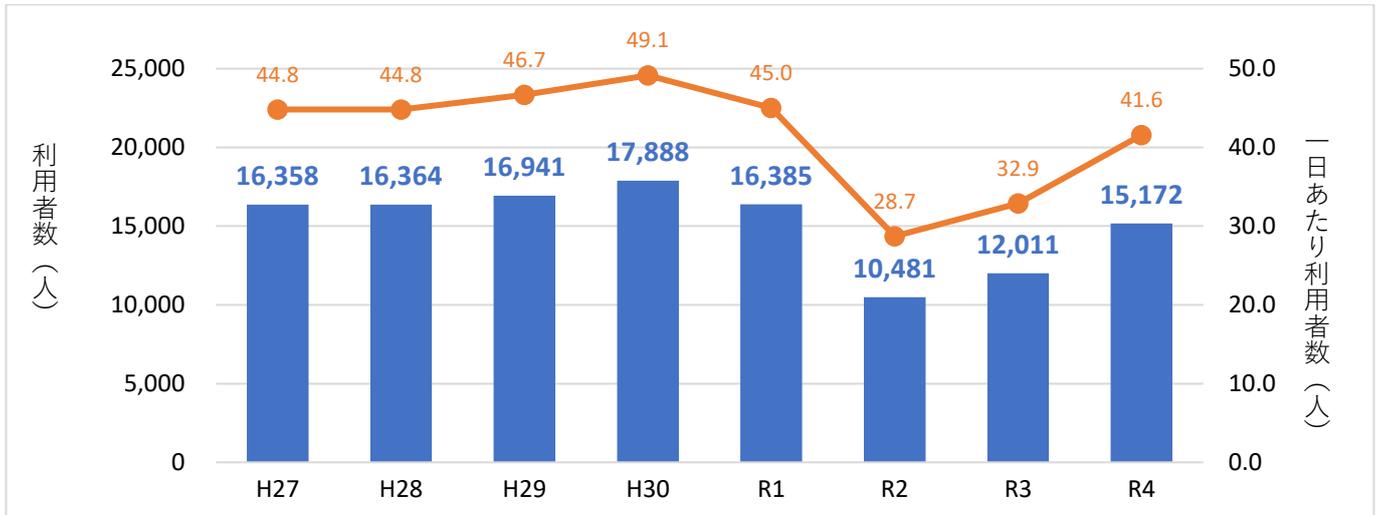
◆ --- ◆ : 準備・調査 ◆ —◆ : 実施・導入・検討

令和4年度 路線別カルテ

コミュニティバス斑尾線	・・・ 2
菜の花バス市街地循環線	・・・ 3
乗り合いタクシー富倉大川線	・・・ 4
乗り合いタクシー岡山下段線	・・・ 5
乗り合いタクシー瑞穂木島線	・・・ 6
乗り合いタクシー瑞穂木島線（柏尾線）	・・・ 7
乗り合いタクシー小境線	・・・ 8
乗り合いタクシー上野線	・・・ 9
乗り合いタクシー深沢永田線	・・・ 10
乗り合いタクシー温井線	・・・ 11
路線別運行効率状況	・・・ 12

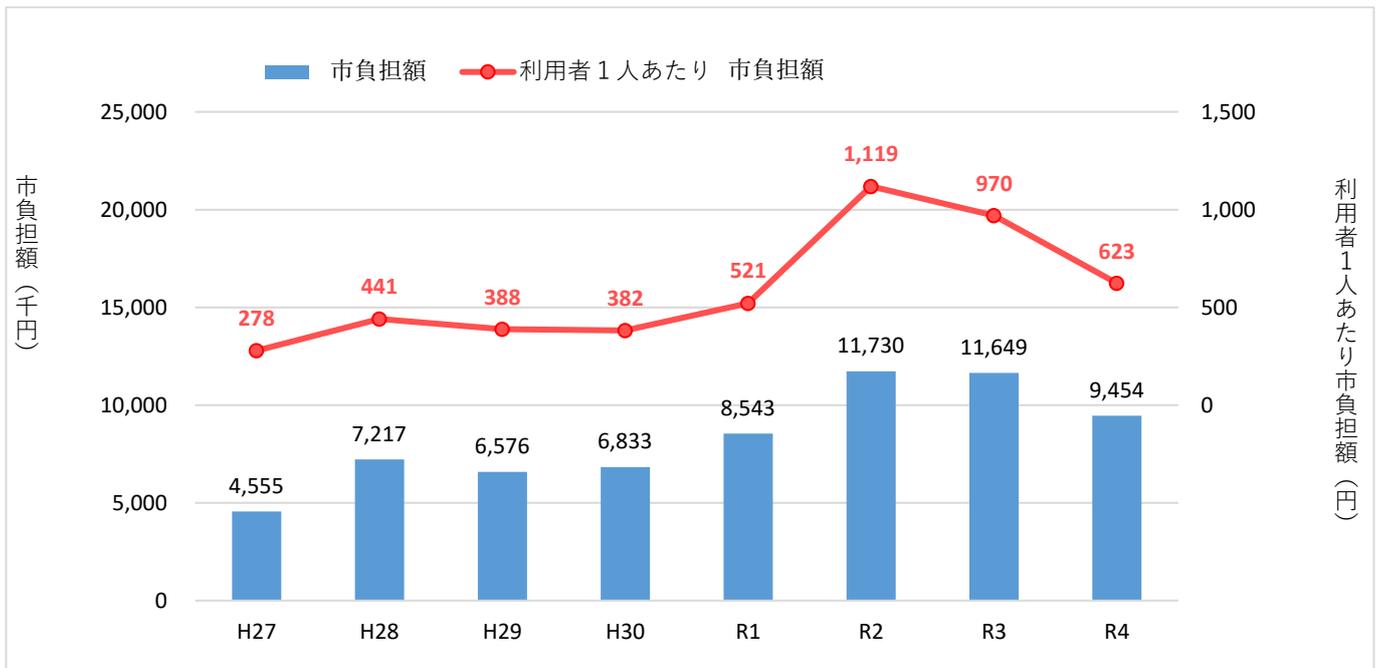
コミュニティバス斑尾線 ※斑尾線区人口 H27：207人 → R4：170人

【年度別利用者数の推移】



※斑尾高原観光客利用者数 H27：536,900人 → R2：339,200人 → R4：451,800人

【飯山市負担額の推移】

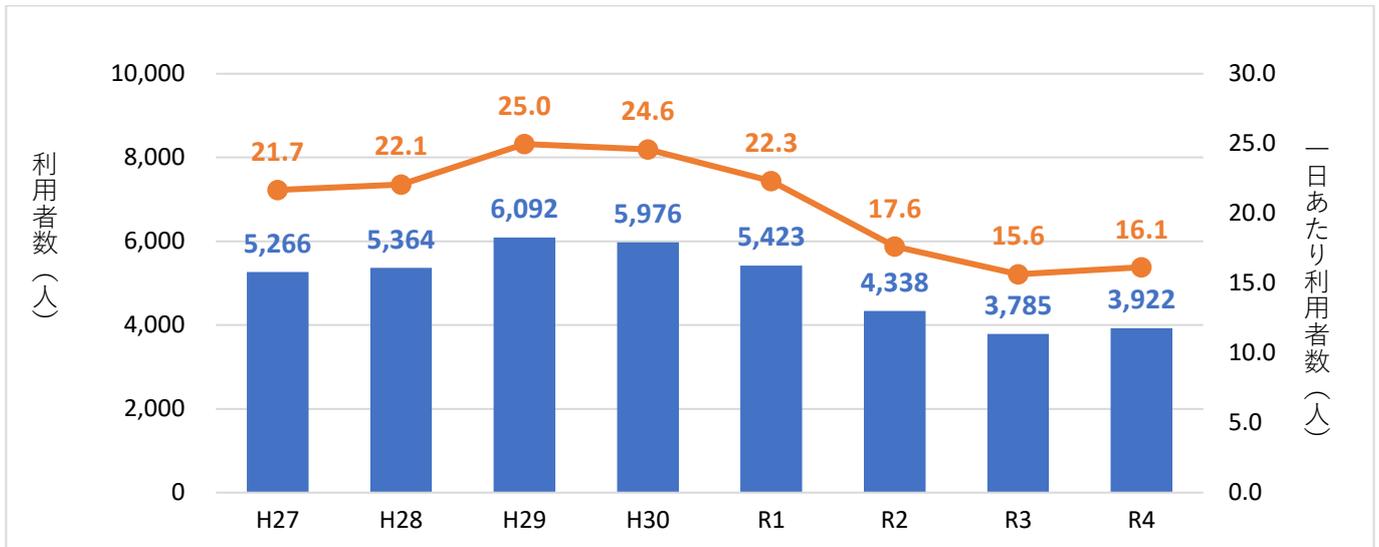


運行事業者：(株)妙高ハブネット 運行日：毎日

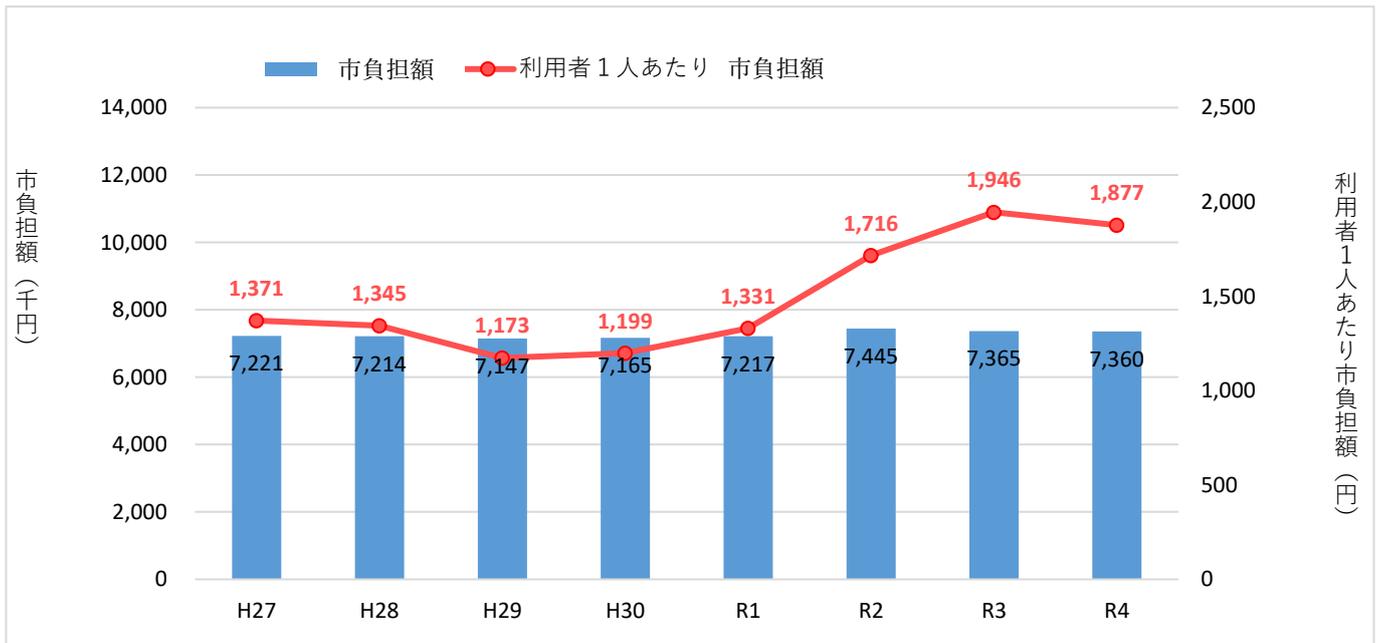
R4 年度運行収入	運賃収入	5,592	千円
R4 年度運行経費	修繕費	1,528	千円
	委託料	13,518	千円
R4 年度市負担額 (運行経費－運行収入)		9,454	千円

菜の花バス市街地循環線 ※飯山市街地人口 H27：6,735人 → R4：5,979人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

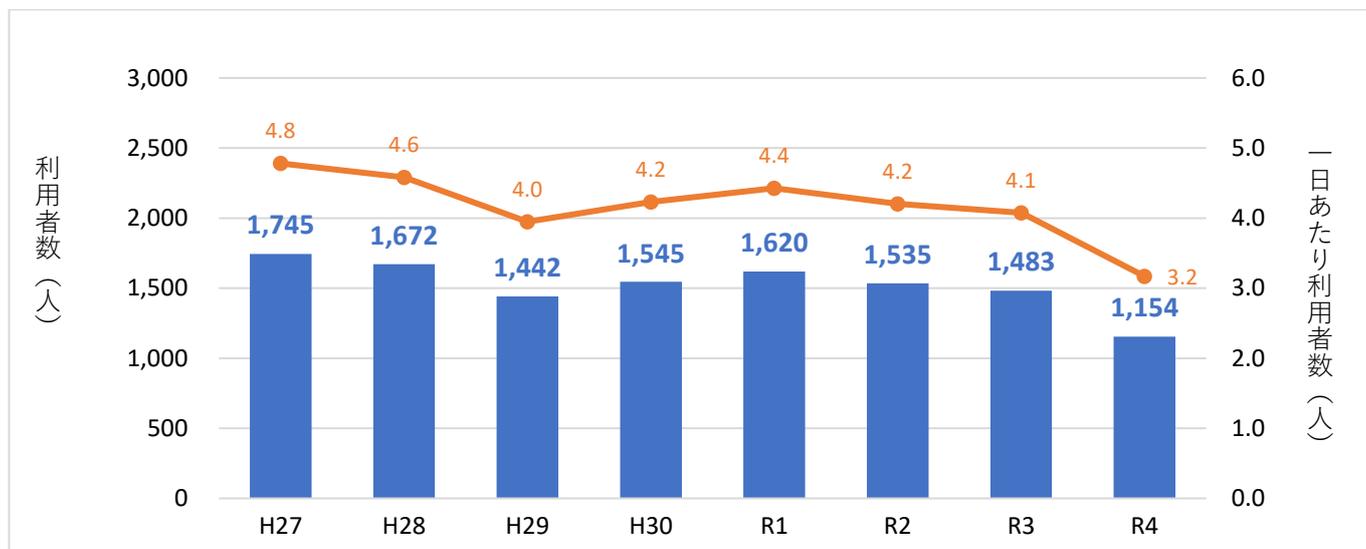


運行事業者：長電バス(株) 運行日：平日（土日祝、年末年始は運休）

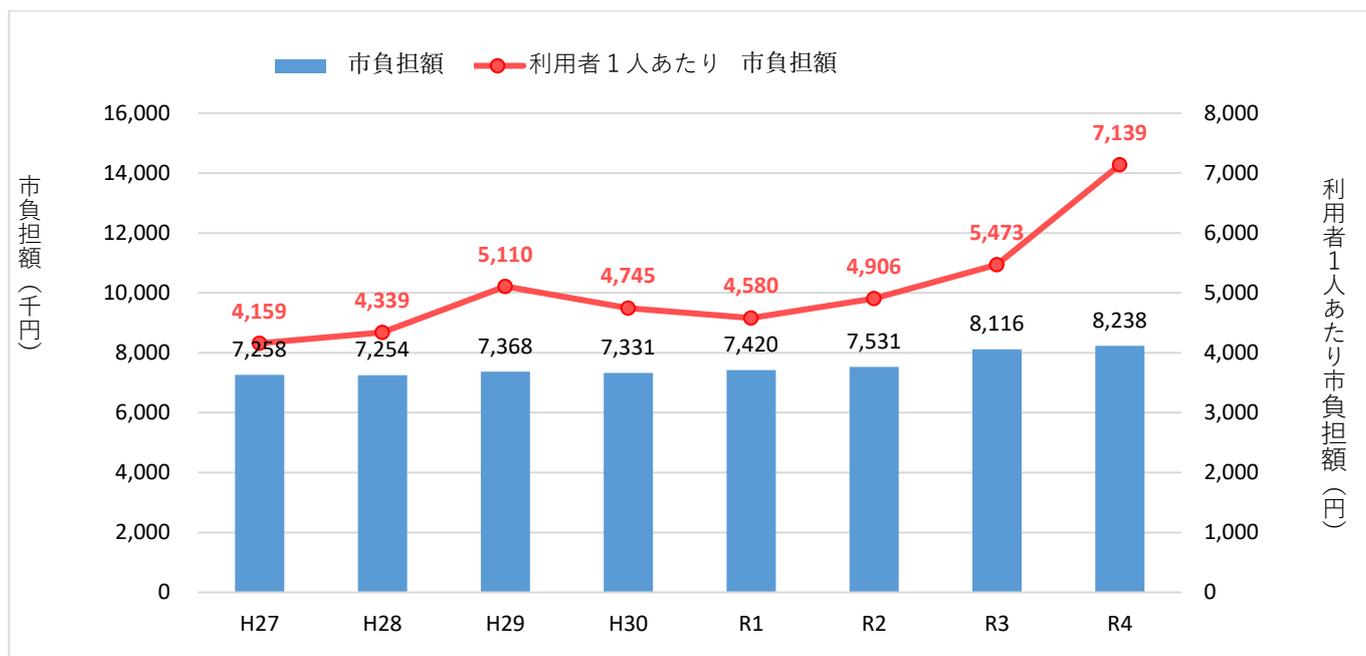
R4 年度運行収入	運賃収入	369	千円
R4 年度運行経費	補助金	7,729	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		7,360	千円

乗り合いタクシー富倉大川線 ※富倉大川線区人口 H27：999人 → R4：830人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

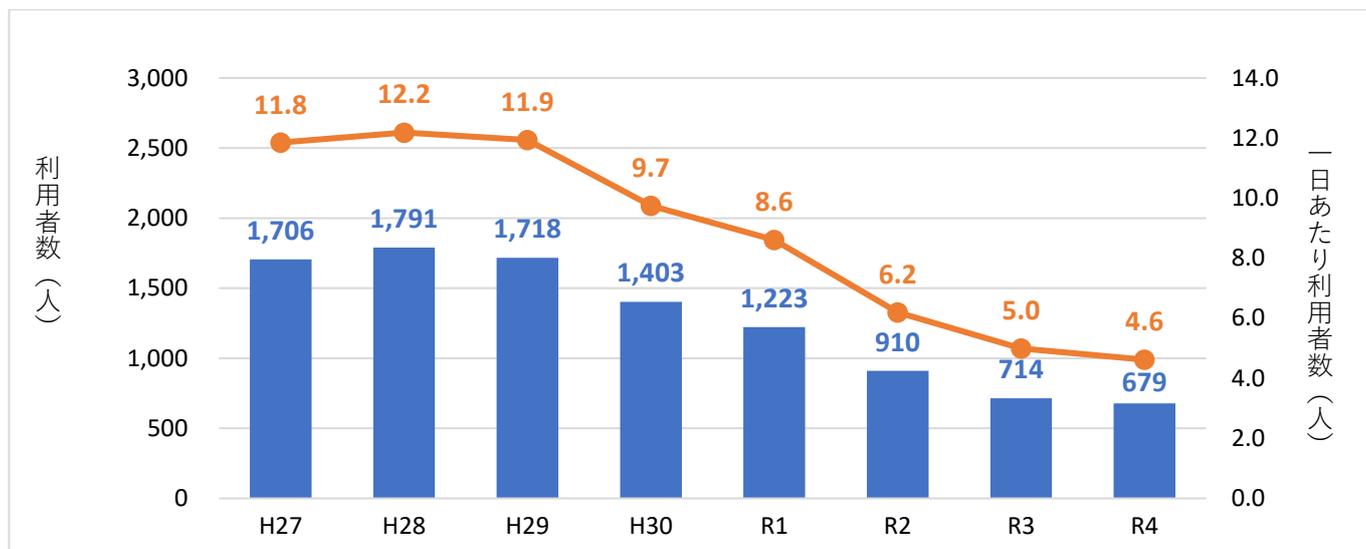


運行事業者：長電バス(株) 運行日：毎日

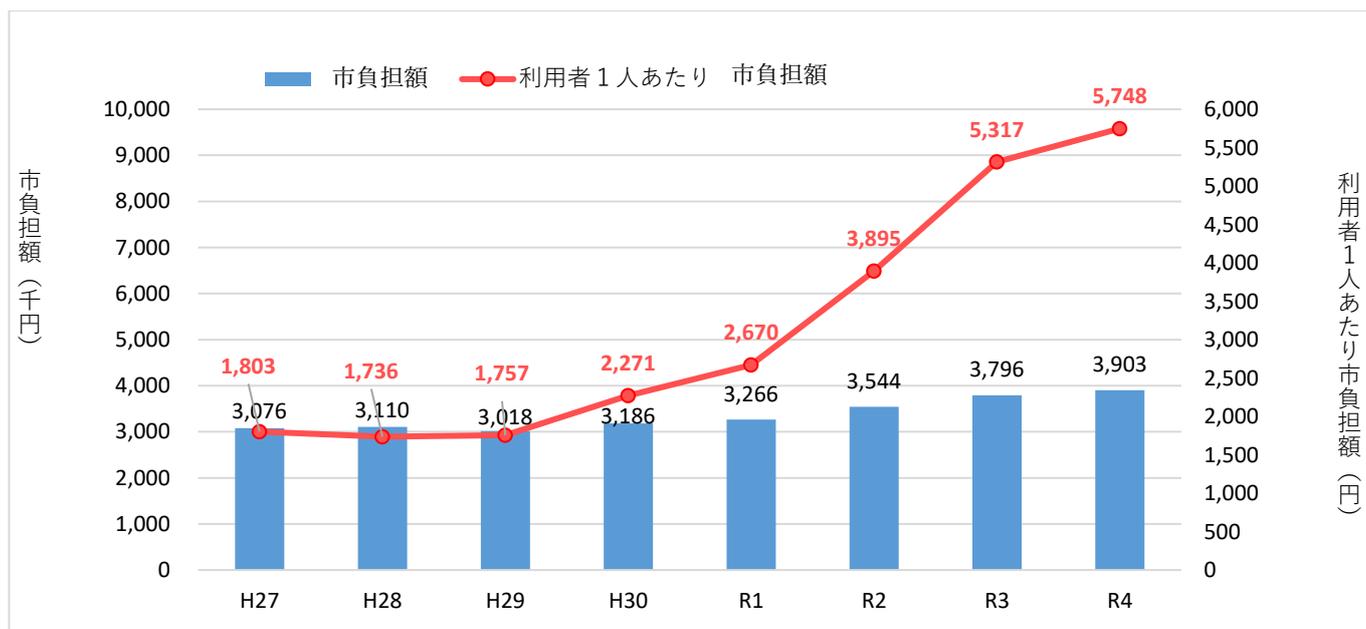
R4 年度運行収入	運賃収入	371	千円
R4 年度運行経費	補助金	8,609	千円
R4 年度市負担額 (運行経費－運行収入)		8,238	千円

乗り合いタクシー岡山下段線 ※岡山下段線区人口 H27：1,186人 → R4：968人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】



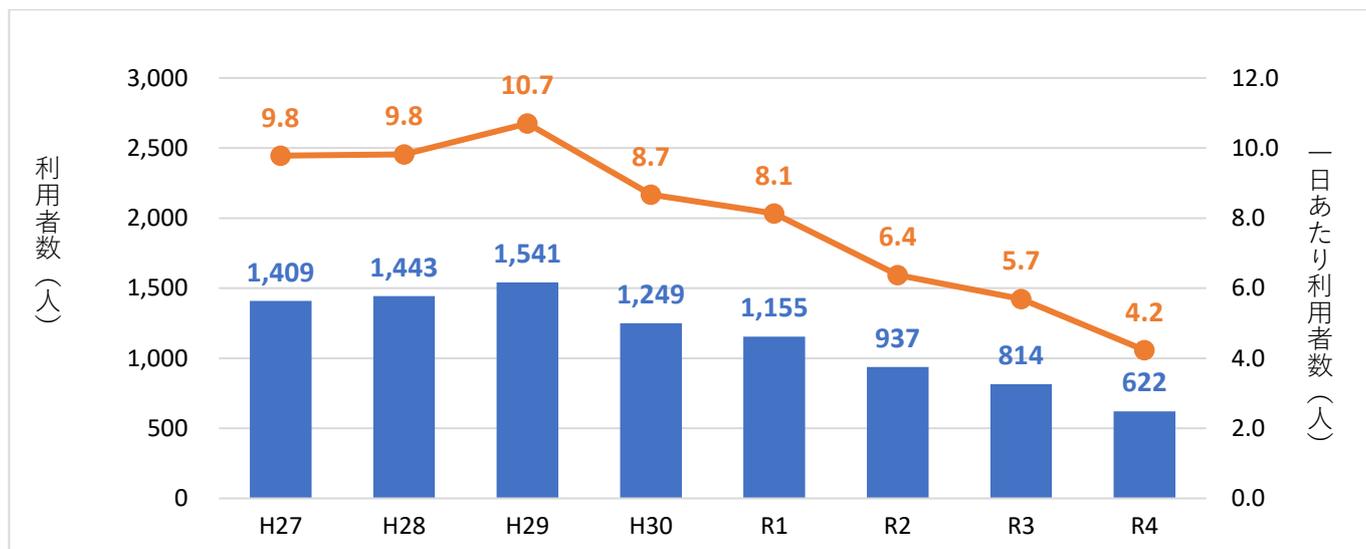
運行事業者：長野交通(株) 運行日：月・水・金（祝日、年末年始は運休）

R4 年度運行収入	運賃収入	317	千円
R4 年度運行経費	補助金	4,220	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		3,903	千円

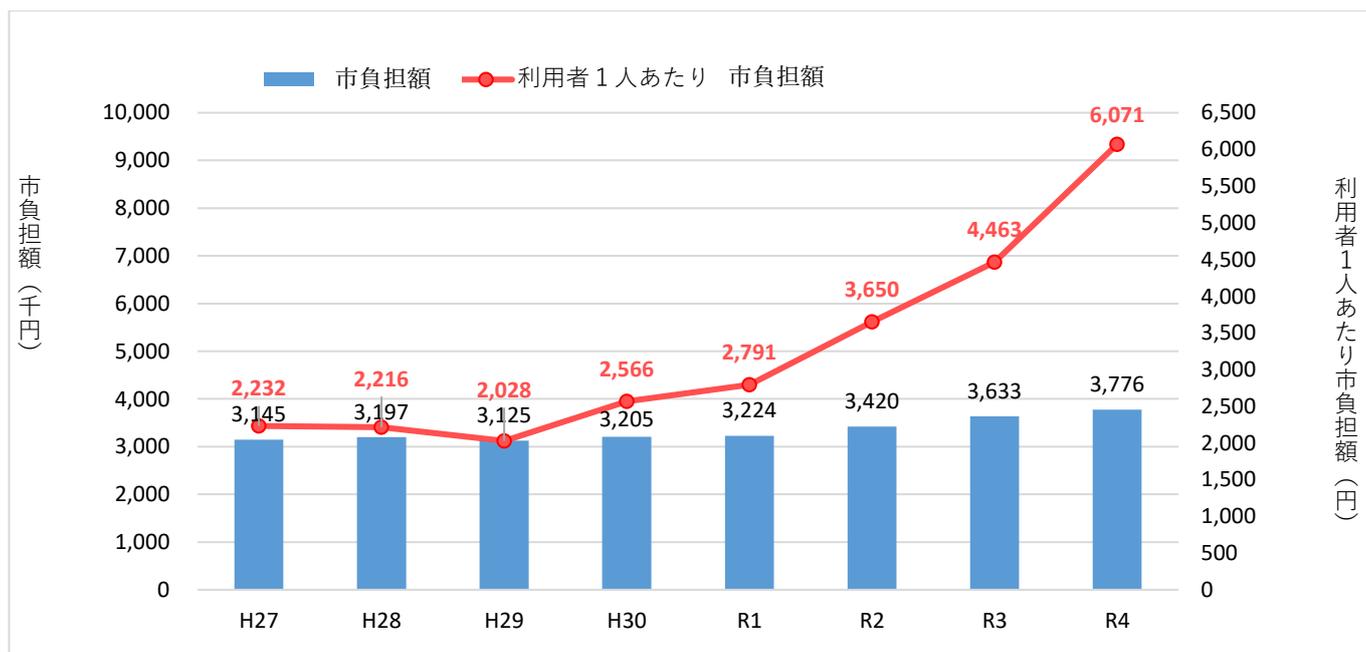
乗り合いタクシー瑞穂木島線

※瑞穂木島線区人口 H27：890人 → R4：749人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

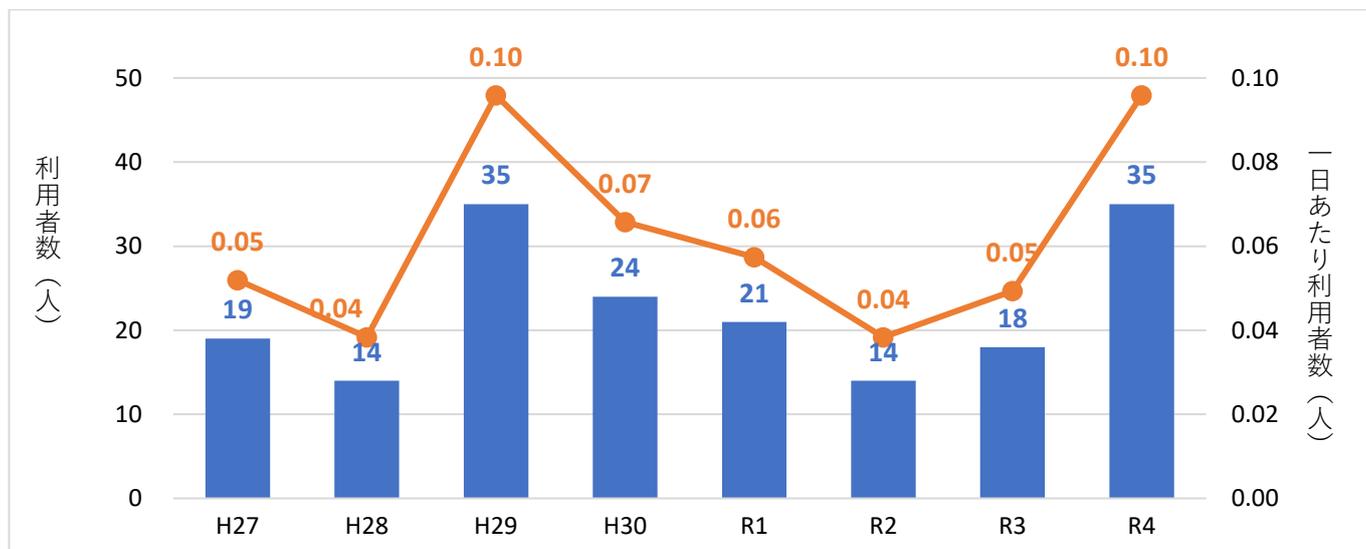


運行事業者：戸狩ハイヤー(有) 運行日：月・水・金（祝日、年末年始は運休）

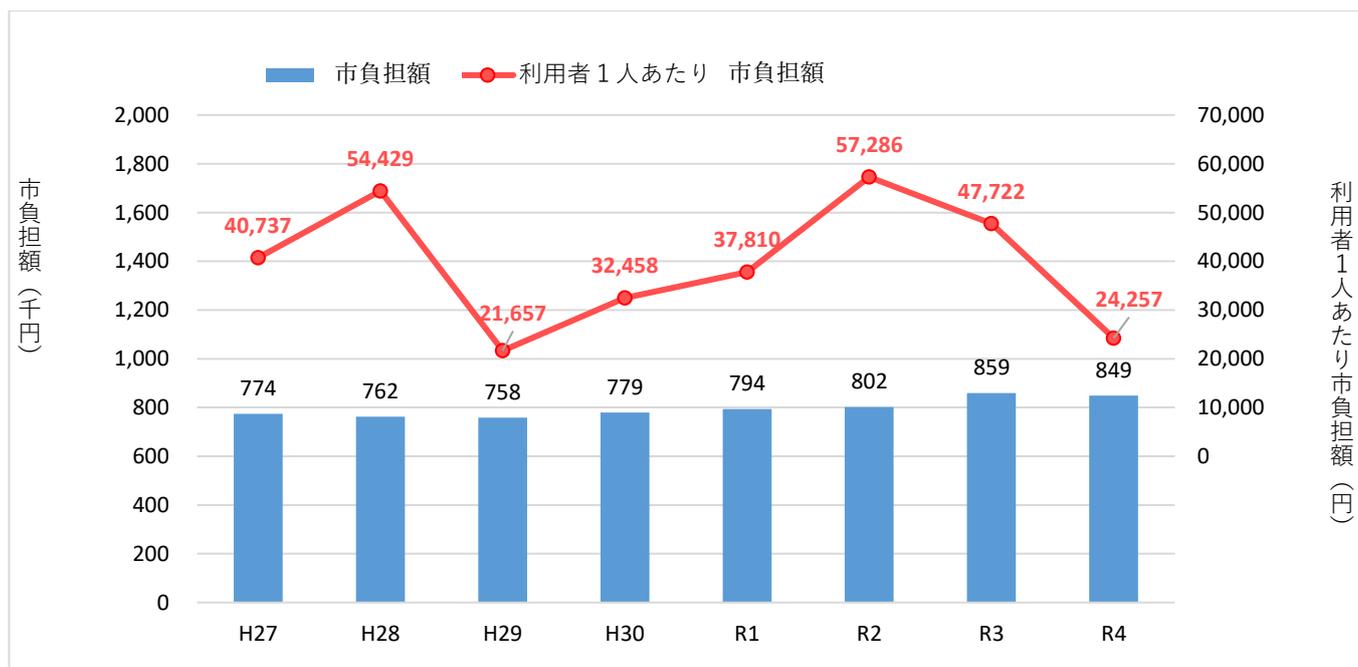
R4 年度運行収入	運賃収入	186	千円
R4 年度運行経費	補助金	3,962	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		3,776	千円

乗り合いタクシー瑞穂木島線（柏尾線） ※柏尾線区人口 H27：485人 → R4：421人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

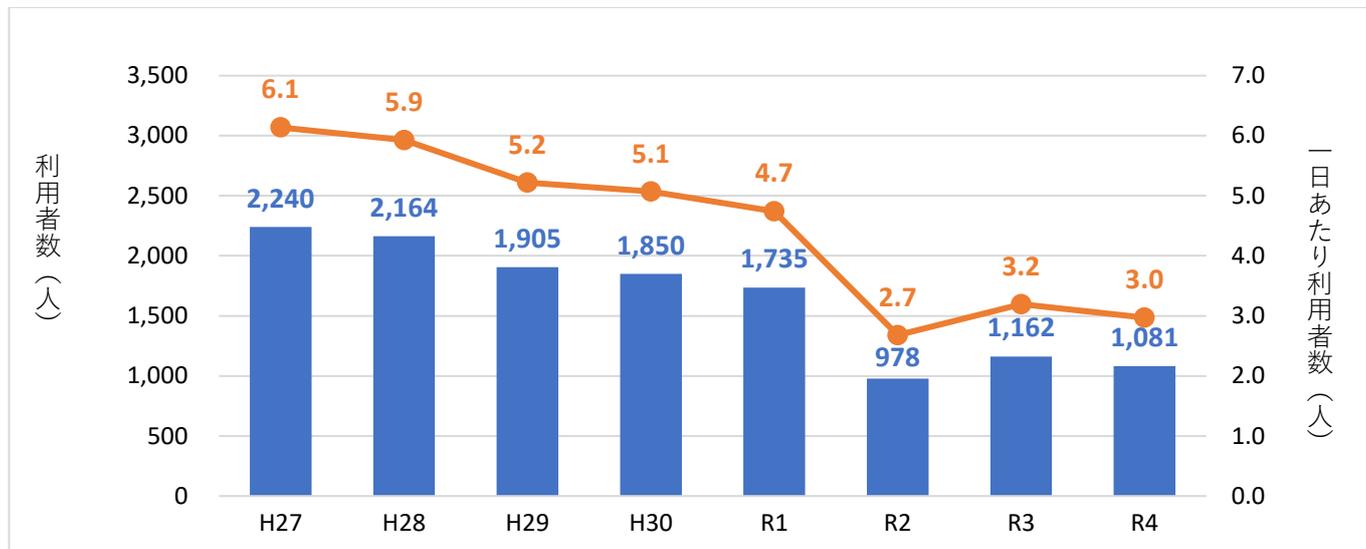


運行事業者：戸狩ハイヤー(有) 運行日：毎日

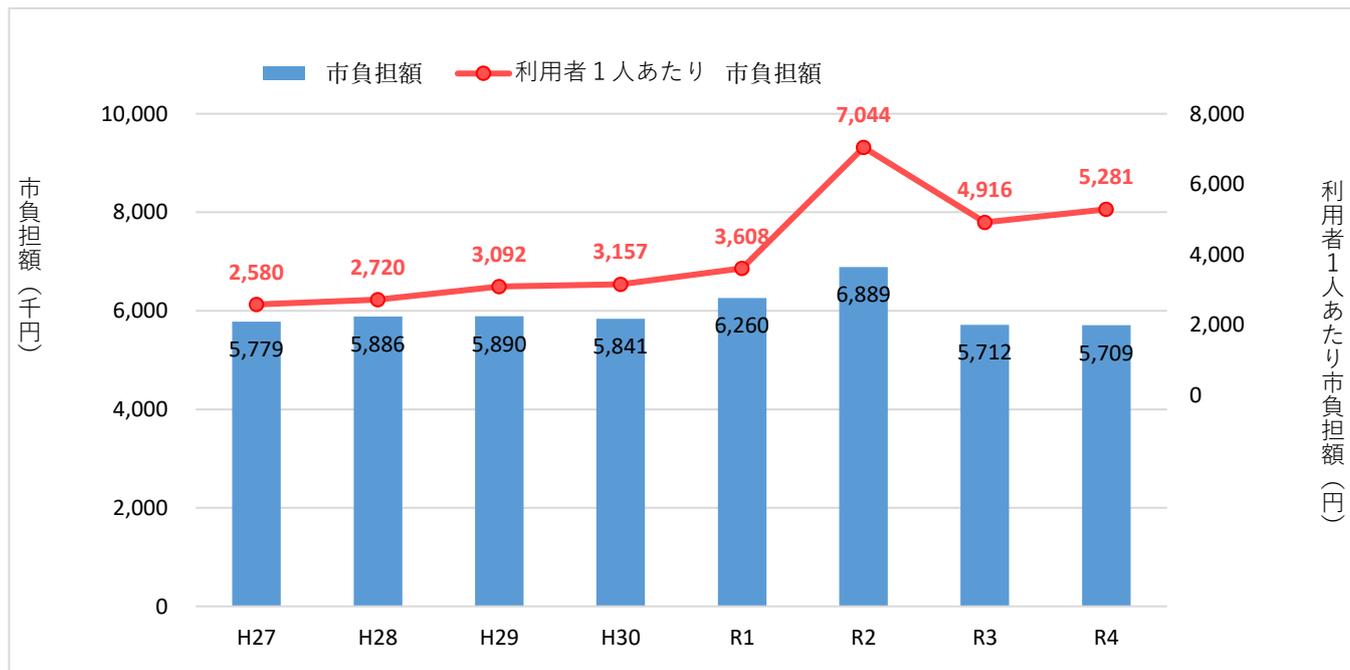
R4 年度運行収入	運賃収入	7	千円
R4 年度運行経費	補助金	856	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		849	千円

乗り合いタクシー小境線 ※小境線区人口 H27：1,402人 → R4：1,133人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

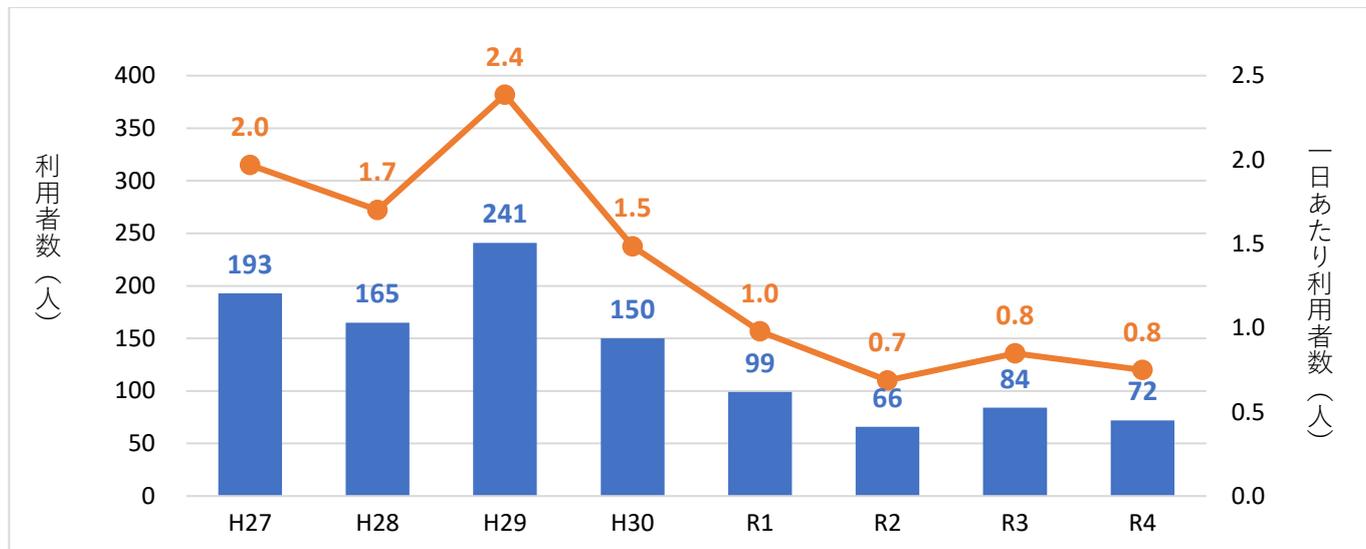


運行事業者：長電バス（株） 運行日：毎日 ※土日祝のみ運行便あり

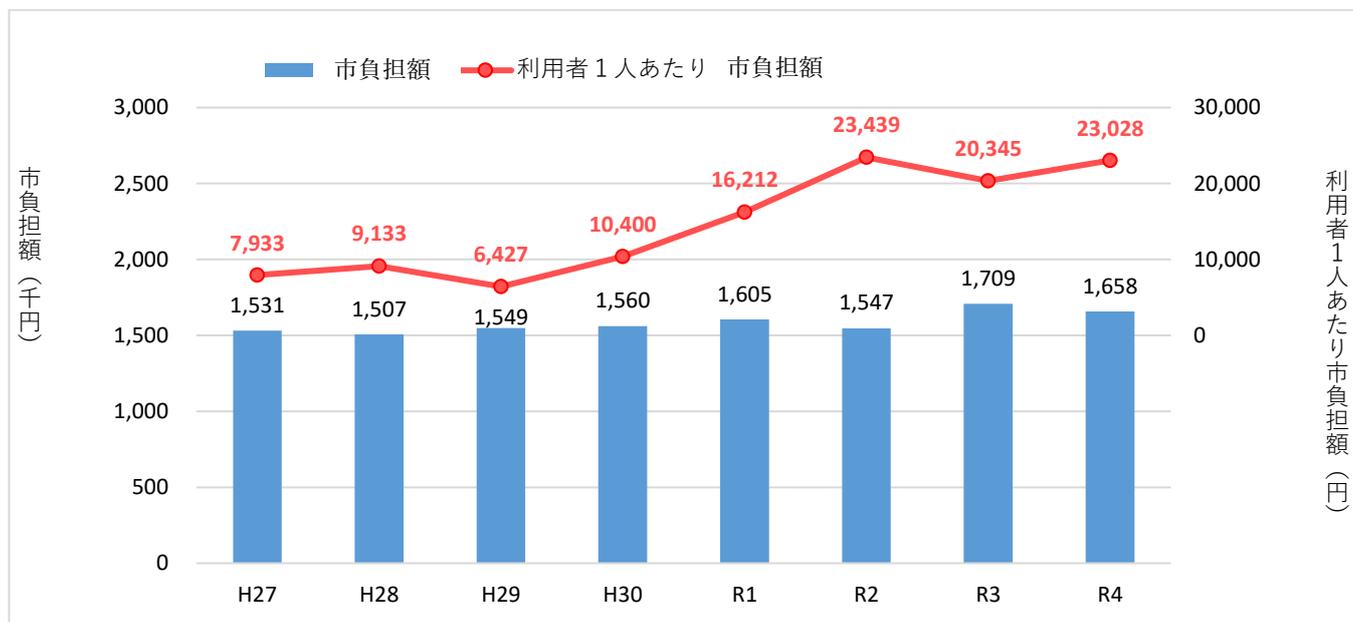
R4 年度運行収入	運賃収入	337	千円
R4 年度運行経費	補助金	6,046	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		5,709	千円

乗り合いタクシー上野線 ※上野線区人口 H27：908人 → R4：768人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

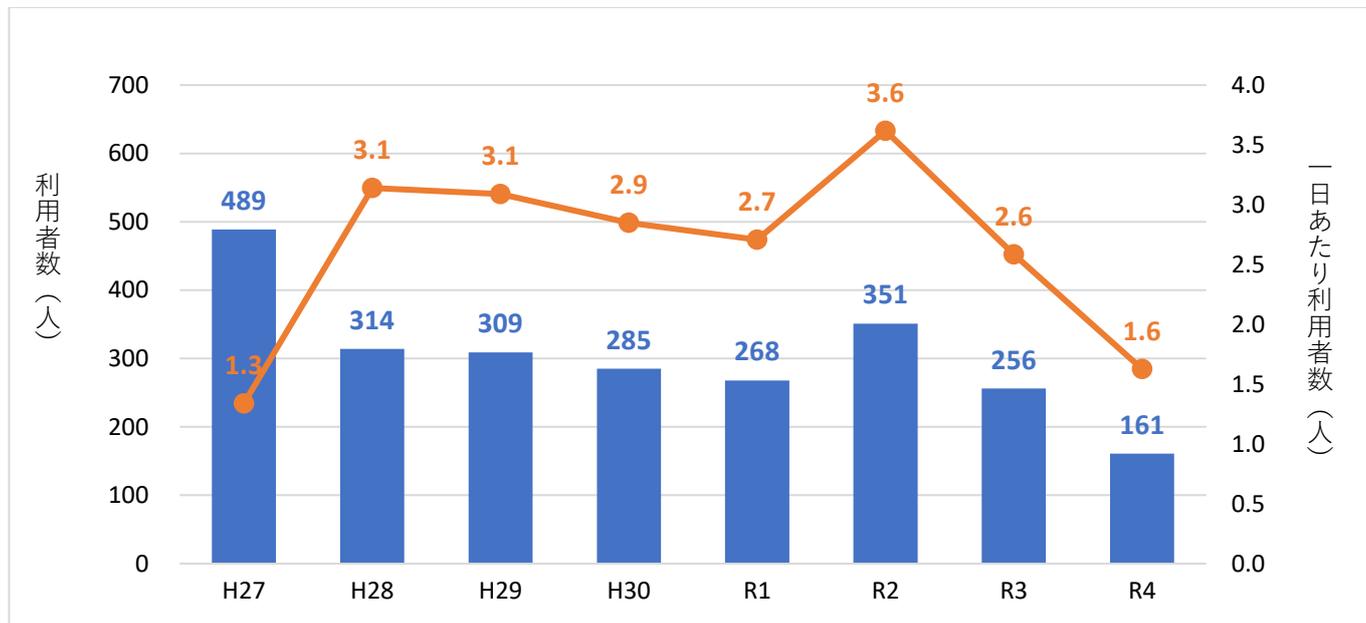


運行事業者：戸狩ハイヤー(有) 運行日：火・木（祝日、年末年始は運休）

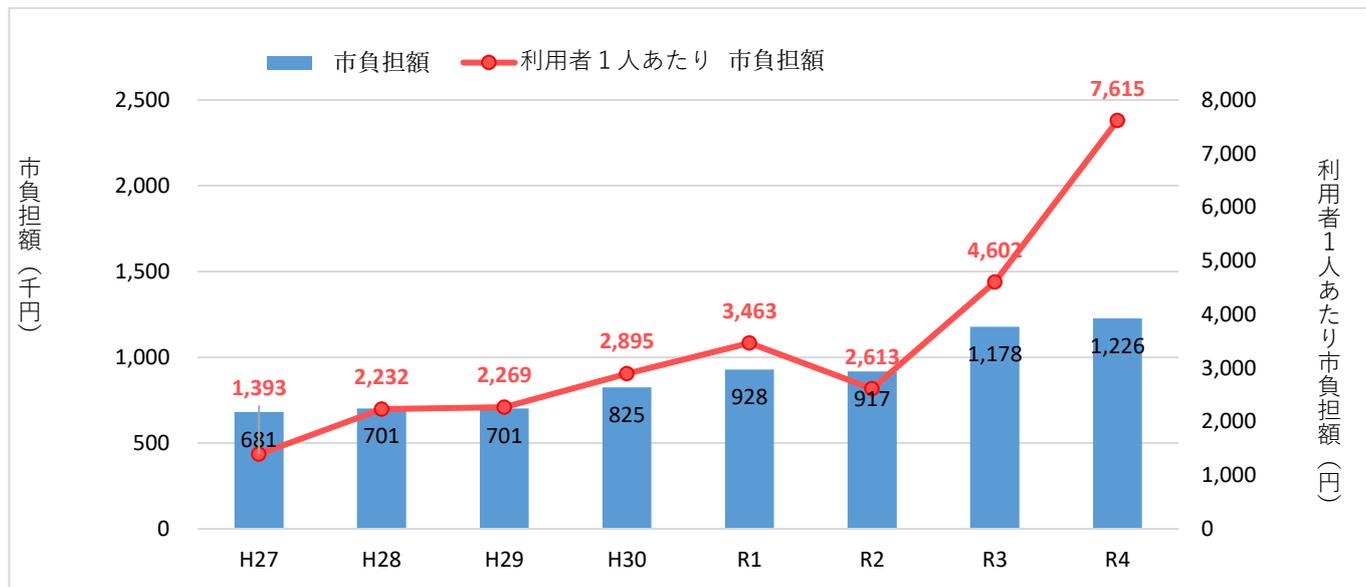
R4 年度運行収入	運賃収入	21	千円
R4 年度運行経費	補助金	1,679	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		1,658	千円

乗り合いタクシー深沢永田線 ※深沢永田線区人口 H27：1,896人 → R4：1,711人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】

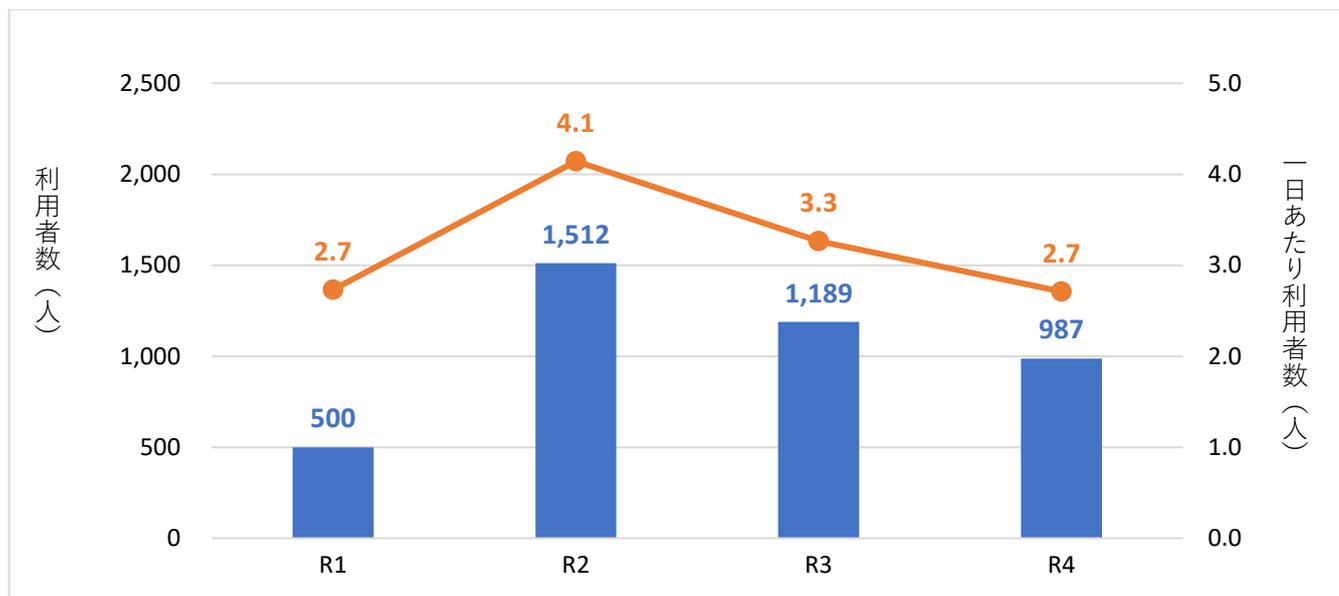


運行事業者：長電バス（株） 運行日：火・金（祝日、年末年始は運休）

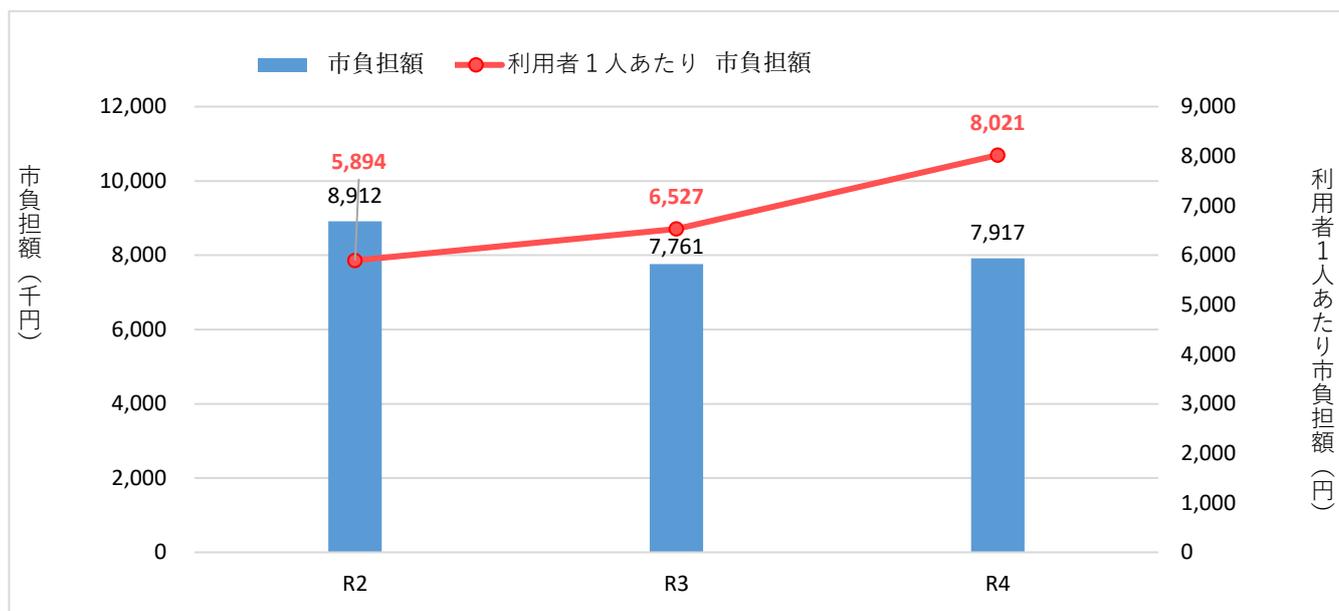
R4 年度運行収入	運賃収入	26	千円
R4 年度運行経費	補助金	1,252	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		1,226	千円

乗り合いタクシー温井線 ※温井線区人口 R2：3,077人 → R4：2,976人

【年度別利用者数の推移】



【飯山市負担額の推移】



運行事業者：長電バス（株） 運行日：毎日 ※土日祝のみ運行便あり

R4 年度運行収入	運賃収入	306	千円
R4 年度運行経費	補助金	8,223	千円
R4 年度市負担額（運行経費－運行収入）		7,917	千円

令和4年度 路線別運行効率状況

- 令和4年度運行実績より各路線（民営路線を除く）の運行効率を整理しました。
- 斑尾線や市街地循環線は、1便あたりの利用者が平均以上で、市負担額は平均より低く、比較的効率がよい路線です。
- 上野線、柏尾線は、利用者が平均以下で市負担額も高く、改善が必要となっています。

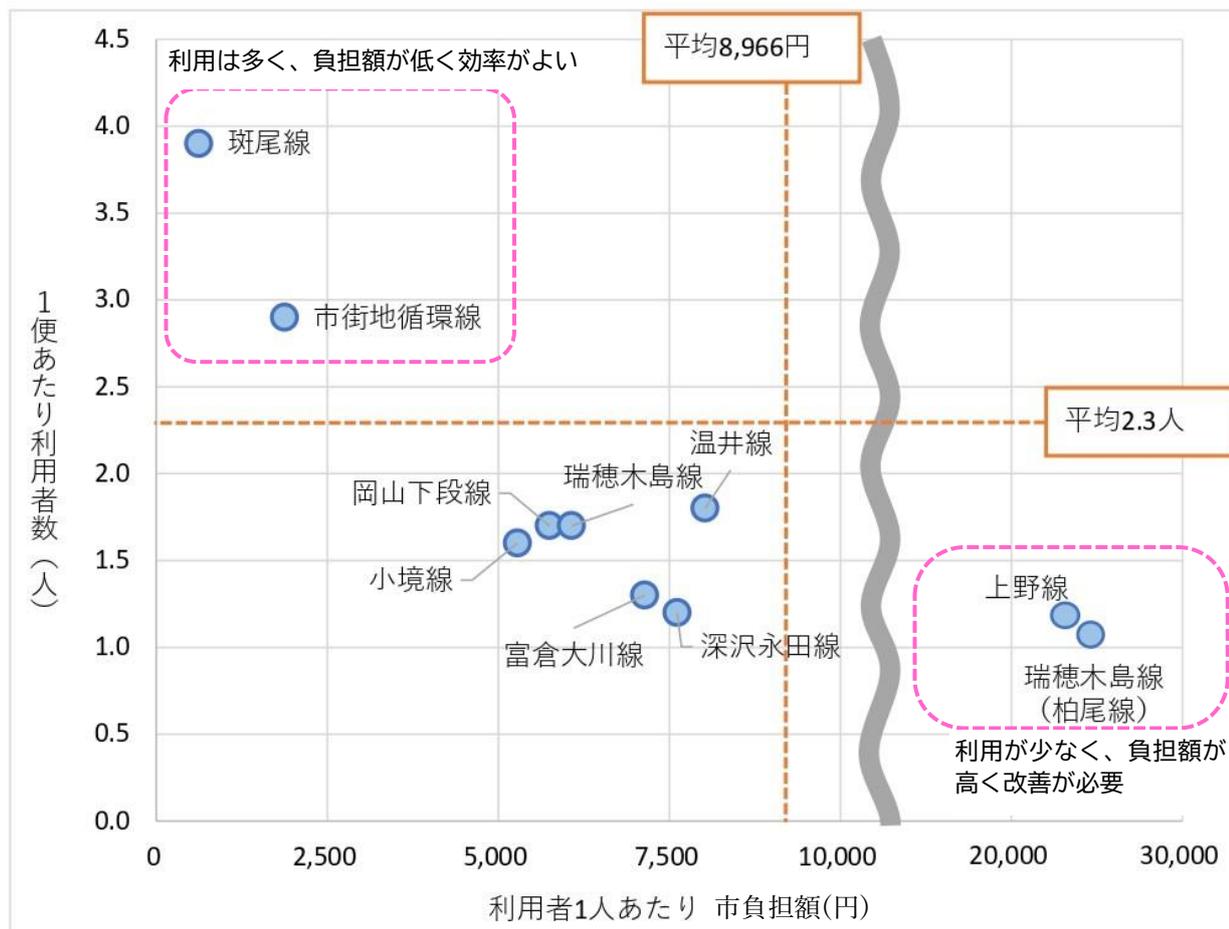


図1 運行効率 (令和4年度実績)